allcinema

バロッコ（1976）

BAROCCO

メディア 映画
ジャンル サスペンス　ドラマ　犯罪
製作国　フランス
色彩　Color
時間　108分
初公開日 1990/11/03
公開情報 シネマテン

【キャッチコピー】
愛は最も美しい犯罪の手段

【解説】
　まだ初々しいアジャーニ、１９歳の作品である。共演のドパルデューも若々しくほっそりしている。それぞれ、片や「アデルの恋の物語」で、もう一方は「１９００年」で若き天才の名をほしいままにしていた頃だ。このセリ・ノワール（暗黒映画）はテシネのヒッチコキアンぶりを如実に示す凝った語り口で、赤い窓のアムステルダムを舞台に名匠Ｐ・サルドのスコアが画面を切り裂くように流れ、幻惑的なスリルを現出させる。
　選挙戦さなかのアムステルダム。ボクサーのサンスンは有力候補者との過去のホモセクシャルな関係をネタに、選挙妨害に加担、巨額の報酬を得るが、彼を追ってきた謎の男に殺される。恋人ロールは事件を追い、実は彼を殺した男が彼と瓜二つであると知り、めまいのような戸惑いを覚える……。
　濡れたような闇を捉えるニュイッテンのカメラ、豪華な助演陣も特筆すべき出来。ことに人のいい娼婦ネリーのＭ＝Ｆ・ピジェは素晴らしく、彼女はこの役でセザール賞を受けた。

【クレジット】

監督	アンドレ・テシネ	Andre Techine		
製作	アラン・サルド	Alain Sarde		
	アンドレ・ジェノヴェ	Andre Genoves		
脚本	アンドレ・テシネ	Andre Techine		
	マリリン・ゴールディン	Marilyn Goldin		
撮影	ブルーノ・ニュイッテン	Bruno Nuytten		
編集	クローディーヌ・メルラン	Claudine Merlin		
音楽	フィリップ・サルド	Philippe Sarde		
出演	イザベル・アジャーニ	Isabelle Adjani	ロール	
	ジェラール・ドパルデュー	Gerard Depardieu	サンスン	
	マリー＝フランス・ピジェ	Marie-France Pisier	ネリ	
	ジャン＝クロード・ブリアリ	Jean-Claude Brialy	ヴァルト	
	ジュリアン・ギオマール	Julien Guiomar	ゴーティエ	
	クロード・ブラッスール	Claude Brasseur	ジュール	（特別出演）
	エレーヌ・シュルジェール	Helene Surgere	アントワネット	
	ジャン＝フランソワ・ステヴナン	Jean-Francois Stevenin		

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.